

第3編 人口戦略

人口戦略の推進

総合計画との一体的な取組

本市では、前期基本計画において、地方版総合戦略を「人口戦略」と位置づけ、総合計画と一体的に策定しました。後期基本計画においても、引き続き「人口戦略」を総合計画と一体的に策定します。

デジタル田園都市国家構想を踏まえた新たな視点

国において、デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、令和5年度を初年度とする5か年の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を新たに策定しました。本市においても、当該戦略を勘案し、地方創生の取組を推進するものとします。

「地方創生 2.0」への対応

令和7年6月13日付けで閣議決定のあった「地方創生 2.0 基本構想」において、国はこれまでの地方創生10年の反省として「人口減少を受け止めたうえでの対応の不足」、「若者や女性が地域から流出する要因へのリーチの不足」、「国と地方の役割の検討の不足、関係機関等との連携の不足」、「地域の多様なステークホルダーが一体となった取組の不足」の4点を挙げており、目指す姿として「強い経済」、「豊かな生活環境」、「新しい日本・楽しい日本」の3項目を掲げており、本市においても、この基本構想の内容を勘案し、基本的な考え方は前期計画を踏襲しつつ、実状に即した施策展開をしてまいります。

地域ビジョン(石巻市が目指す理想像)

先述のとおり、「人口戦略」を総合計画と一体的に策定することから、総合計画の将来像「ひとりひとりが 多彩に煌めき 共に歩むまち」を、「総合戦略」に共通する地域ビジョンとして位置付け、4つの社会課題への対応方針のもと、デジタルの力の活用を図りながら、分野横断的な施策の推進を目指します。

国(デジタル田園都市国家構想総合戦略)

デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

施策1 地方に仕事をつくる

スタートアップ・エコシステムの確立、中小・中堅企業DX(キャッシュレス決済、シェアリングエコノミー等)、スマート農林水産業・食品産業、観光DX、地方大学を核としたイノベーション創出等

施策2 人の流れをつくる

「転職なき移住」の推進、オンライン関係人口の創出・拡大、二地域居住等の推進、地方大学・高校の魅力向上、女性や若者に選ばれる地域づくり等

施策3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

結婚・出産・子育ての支援、仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり、こども政策におけるDX等のデジタル技術を活用した地域の様々な取組の推進等

施策4 魅力的な地域をつくる

教育DX、医療・介護分野DX、地域交通・インフラ・物流DX、まちづくり、文化・スポーツ、国土強靱化の強化等、地域コミュニティ機能の維持・強化等

宮城県(新・宮城の将来ビジョン)

政策推進の「4本の柱」と「8つのつくる」

基本方針1

富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進
(1)全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる
(2)産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる

基本方針2

社会全体で支える宮城の子ども・子育て
(3)子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる
(4)社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる

基本方針3

誰もが安心していきいきと豊かに暮らせる地域社会づくり
(5)一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる
(6)健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる

基本方針4

強靱で自然と調和した県土づくり
(7)自然と人間が共存共栄する社会をつくる
(8)世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる

本市人口戦略

対応方針		施策の展開
対応方針1 安定した雇用を 創出し稼ぐまち をつくる	地域産業の経営力の強化及び魅力ある産業づくりに取り組むとともに、担い手不足の解消に向けた人材確保のための支援を行い、女性や高齢者等の誰もが働きやすい地域づくりを目指します。	施策1 地域産業の競争力を強化する
		施策2 専門人材を確保・育成する
		施策3 働きやすい魅力的な環境を整備する
対応方針2 絆を大切にし 人が集まるまち をつくる	絆やつながりを大切にし、関係人口から移住者へつながる取組を推進するとともに、地域への愛着を育む教育や専門人材の育成、魅力的な雇用創出につながる企業誘致を推進し、「石巻市に住みたい」と思える地域づくりを目指します。	施策1 地方移住・移転の推進を図る
		施策2 若者の地元定着の推進を図る
		施策3 関係人口の創出・拡大、つながりの継続を図る
		施策4 地方への資金の流れの創出・拡大を図る
対応方針3 結婚・妊娠・出産・ 子育ての希望が かなうまちをつ くる	若い世代の経済基盤の不安定解消や、家庭内で支え合うライフスタイルの形成に向けた改善を積極的に推進し、個々の希望に応じた結婚から妊娠、出産、子育ての希望をかなえられる地域づくりを目指します。	施策1 結婚・妊娠・出産への切れ目のない支援を推進する
		施策2 子育て支援の充実を図る
		施策3 学校教育の充実を図る
		施策4 仕事と子育ての両立を図る
対応方針4 災害に強く安全 安心に暮らせる 魅力的なまちを つくる	身近な場所で日常生活を充足できる機能を充実させるとともに、豊かな地域資源を活かした地域の魅力開発や発信、災害に備えた環境整備と教育の充実により、住みなれた地域で暮らし続けられる地域づくりを目指します。	施策1 質の高い暮らしのためのまちの機能の充実を図る
		施策2 資源を活かした地域の魅力づくりを推進する
		施策3 安心して暮らせる医療・福祉環境の充実を図る
		施策4 災害に強いまちづくりを推進する

国(地方創生 2.0 基本的な考え方)

安心して働き、
暮らせる地方の
生活環境の創生

東京一極集中
のリスクに対応
した人や企業の
地方分散

付加価値創出
型の新しい地方
経済の創生

デジタル・新技
術の徹底活用

産官学金労言
の連携など、国
民的な機運の
向上

対応方針1 安定した雇用を創出し稼ぐまちをつくる

基本方向

本市では、今後も人口減少、少子高齢化が進行することが予測されるとともに、雇用のミスマッチなどによる若い世代の市外への流出が続いており、こうした世代の定住を支える魅力ある就業の場の確保が課題となっています。

そのため、市内の産業を振興し多様な就業機会を増やすために、新しいデジタル技術を活用しながら中小企業の生産性の向上、農林水産業の成長産業化、創業・新産業の育成等による産業の創出など、地域金融機関などとの連携による支援を図りながら、他地域との競争に勝ち抜くことのできる地域産業の経営力の強化、魅力ある産業づくりに取り組みます。

さらに、関係機関における各種就業支援制度を活用した人材マッチングなどにより、次代の新しい技術を活用した産業発展を担う若者を始めとした人材確保と育成に努めます。

また、就労環境の改善などにより、女性、高齢者、障害者など、誰もが働きやすい環境づくりを支援することで、多様な人材が活躍する地域経済の活力醸成につなげます。

KGI

市の事業により創出された就業者の5年定着率(企業立地指定企業、新規創業者、水産担い手育成支援者、農業担い手育成支援者)[単年]

1 地域産業の競争力を強化する

KPI

市の事業による新規創業及び第二創業件数[累積]

主な取組

- ・ 地域企業の生産性の向上を促進
- ・ 農林水産業の成長産業化を推進
- ・ 石巻のブランド力の強化と積極的な情報発信を推進
- ・ 産学官連携による産業イノベーションに対し支援
- ・ 創業・新産業の育成支援を推進
- ・ 新たな産業技術・情報技術を活用した地域経済の活性化を促進

2 専門人材を確保・育成する

KPI

新規雇用創出人数(福祉関係等の専門人材を含む)[累積]

主な取組

- ・ 後継者人材を確保・育成
- ・ 専門的な知識・技術を有する人材を確保・育成

3 働きやすい魅力的な環境を整備する

KPI

就学金返還助成人数[累積] /イクボス宣言企業数[累積]

主な取組

- ・ 女性が働きやすい環境づくりを推進
- ・ 障害者、LGBTQ+など誰もが就労しやすい環境づくりを推進
- ・ 生き生きと高齢者が働ける環境づくりを推進

対応方針2 絆を大切にしたい人が集まるまちをつくる

基本方向

本市は、東日本大震災からの復興にあたり、国内外から多くの支援を受け、これをきっかけに本市に移住する方、また支援に従事し本市を離れた方も、再び本市を訪ねたり、支援をしたりと継続的な関係が続いています。

これからもそのようなつながりを大切にするとともに、関係人口から移住者へとなるよう取組を推進します。また、移住を希望する方のニーズにあった情報発信の強化、住まいや就業に関する支援を行い、移住・定住の促進を図るとともに、移住後も安定した生活を確保するため、雇用創出につながる企業誘致を推進します。

そして、企業での待遇改善等魅力的な就業環境の整備や個々の志向性にあった魅力ある学びの場を作るとともに、地域資源を活かした新産業の創出やデジタル技術の活用による専門人材の育成等若者の定着につながる取組を推進します。

さらに、企業版ふるさと納税やふるさと納税などの制度を活用して、新たなつながりを構築し関係人口を創出します。

KGI 社会増減率[単年]

1 地方移住・移転の推進を図る

KPI 転入者のうち 20 歳から 39 歳の割合[単年] / 立地企業件数[累積]

主な
取組

- ・ 移住希望者に対し、住居の確保、就労や子育てなど、ニーズに応じた支援を実施
- ・ 地域おこし協力隊制度の活用と定住に対し支援
- ・ 企業訪問や情報提供などによる市内への企業誘致を促進

2 若者の地元定着の推進を図る

KPI 転出者のうち 20 歳から 39 歳の割合[単年] / 石巻専修大学、管内高校生の管内就職率[単年]

主な
取組

- ・ 産学官連携による産業創出や新技術の導入を通じた人材の育成に対し支援
- ・ 管内高等学校での地域との関わりを促進し、地元定着を推進
- ・ 地域活動や学校の授業などを通して、地域の歴史や文化に触れる機会を提供

3 関係人口の創出・拡大、つながりの継続を図る

KPI 観光客入込数[単年]

主な
取組

- ・ 本市出身者などの関係人口に向けた積極的な情報発信
- ・ 地域資源を活かした観光地域づくりを推進し、交流人口の拡大を促進
- ・ 二地域居住を通じた関係人口の創出

4 地方への資金の流れの創出・拡大を図る

KPI ふるさと納税寄附件数[単年]

主な
取組

- ・ ふるさと納税を推進し、寄附を通じて得た個人とのつながりの構築
- ・ 企業版ふるさと納税制度を活用し、本市と企業の連携を促進

対応方針3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなうまちをつくる

基本方向

年々深刻さを増す少子化の進行は、未婚化・晩婚化や、出産年齢の上昇等に起因する有配偶出生率の低下が主な原因とされています。

子どもを産みたい・育てたいと思える環境を実現するために、結婚から妊娠・出産・子育てにわたる各種情報提供や相談体制を確立し、切れ目のない支援を行います。

また、子育て世帯の経済的な負担の軽減や保育環境、未来技術などを活用した教育環境の充実を図り、地域ぐるみの子育てしやすい環境を整備します。

さらに、女性が働きながら安心して子どもを産み育てられるような支援や環境を整備するとともに、セミナーなどを通して女性の活躍を推進します。

こうした家庭や職場、地域ぐるみで多様な人々が子育てに関与する環境が整備されることで、女性の社会参加を促しつつ、個々の希望に応じた結婚から妊娠、出産、子育ての希望をかなえます。

KGI

合計特殊出生率〔単年〕
15歳～49歳年度末女性人口〔単年〕

1 結婚・妊娠・出産への切れ目のない支援を推進する

KPI 出生数(年度末0歳人口)〔単年〕

主な取組

- ・子育て世代包括支援センターを拠点とした、妊娠期から子育て期における子育て相談や支援が受けられる環境の整備
- ・不妊治療や妊婦の健康診査など妊娠・出産に至るまでの支援
- ・出産後の心理的ケア、乳児の健康診査など母子の健康管理を実施
- ・子育て世代が必要とする情報について、積極的な情報発信を実施

2 子育て支援の充実

KPI 保育施設及び放課後児童クラブ待機児童数〔単年〕

主な取組

- ・子どもを預かり、見守る仕組みや相談体制の充実
- ・経済的な格差が子どもたちの生活・健康に影響しないための支援を実施
- ・多様な保育ニーズに合った保育環境を整備
- ・放課後児童クラブの利用ニーズに合った環境を整備
- ・家庭・学校での子どもたちの安全・安心を守るための取組を推進

3 学校教育の充実を図る

KPI 学校が楽しいと感じている生徒の割合〔単年〕 / 全国学力学習状況調査正答率が全国平均以上の学校の割合〔単年〕

主な取組

- ・子どもの学力向上に対する取組を推進
- ・いじめ問題対策を推進
- ・特別な支援が必要な児童への対策を推進
- ・地域ぐるみの子育て環境の構築を推進
- ・教育相談体制の充実を推進

4 仕事と子育ての両立を図る

KPI 男性の1日あたりの家事参画(1時間以上)率〔単年〕 / 女性の就業率〔単年〕

主な取組

- ・働きながら安心して子育てできる環境を整備
- ・男女共同参画を推進
- ・女性の活躍を推進

対応方針4 災害に強く安全安心に暮らせる魅力的なまちをつくる

基本方向

住みなれた身近な場所で日常の生活を充足できる機能集約やコミュニティ形成による生活圏の形成とネットワーク化、未来技術の活用などによる地域交通の維持・確保及び利便性向上、地域間連携を通じた圏域としての持続可能な生活環境づくりなどにより、質の高い暮らしを確保します。

また、文化・芸術等の多様な地域資源を生かした取組や、スポーツ振興による心豊かで健康に暮らせる地域づくりを進めると共に、地域のエネルギー資源の活用を進めます。

そして、誰もが住み慣れた地域で安心して健康に暮らせるよう、医療・福祉環境の充実を図り、地域包括ケアを推進します。

さらに、今後発生しうる災害に備えて、家屋の耐震化や地域における防災設備・備蓄の充実、防災教育の充実など、災害に強いまちづくりを推進します。

こうした一連の取組により、地域の魅力を高め、多様な人々が日々の生活の中で個々の志向にあった地域活動を通じて地域づくりに貢献できる環境づくりを進めます。

KGI

住み続けたいと思う市民の割合〔単年〕
地域の防災対策が推進されていると感じる市民の割合〔単年〕

1 質の高い暮らしのためのまちの機能の充実を図る

KPI

地域コミュニティ活動が活性化していると感じる市民の割合〔単年〕 / 公共交通利用回数(市民1人当たり)〔単年〕

主な取組

- ・住民自治組織の設立を支援するほか、その主体的な取組に対し支援
- ・身近な生活圏の形成及び充実を推進
- ・地域交通の確保・充実などにより、地域間のネットワーク構築を推進
- ・魅力的で持続可能な地域の形成を推進
- ・地域間連携による魅力的な地域圏の形成を推進

2 資源を活かした地域の魅力づくりを推進する

KPI

生涯学習に取り組んでいる市民の割合〔単年〕 / 年間 CO2 排出量〔単年〕

主な取組

- ・文化・芸術・スポーツ活動の振興を推進
- ・地域のエネルギー資源の活用を推進

3 安心して暮らせる医療・福祉環境の充実を図る

KPI

地域で支え合いが行なわれていると感じる市民の割合〔単年〕 / 高齢者福祉が充実していると感じる40歳以上の市民の割合〔単年〕

主な取組

- ・地域包括ケアを推進
- ・高齢者が活躍する環境の整備を推進

4 災害に強いまちづくりを推進する

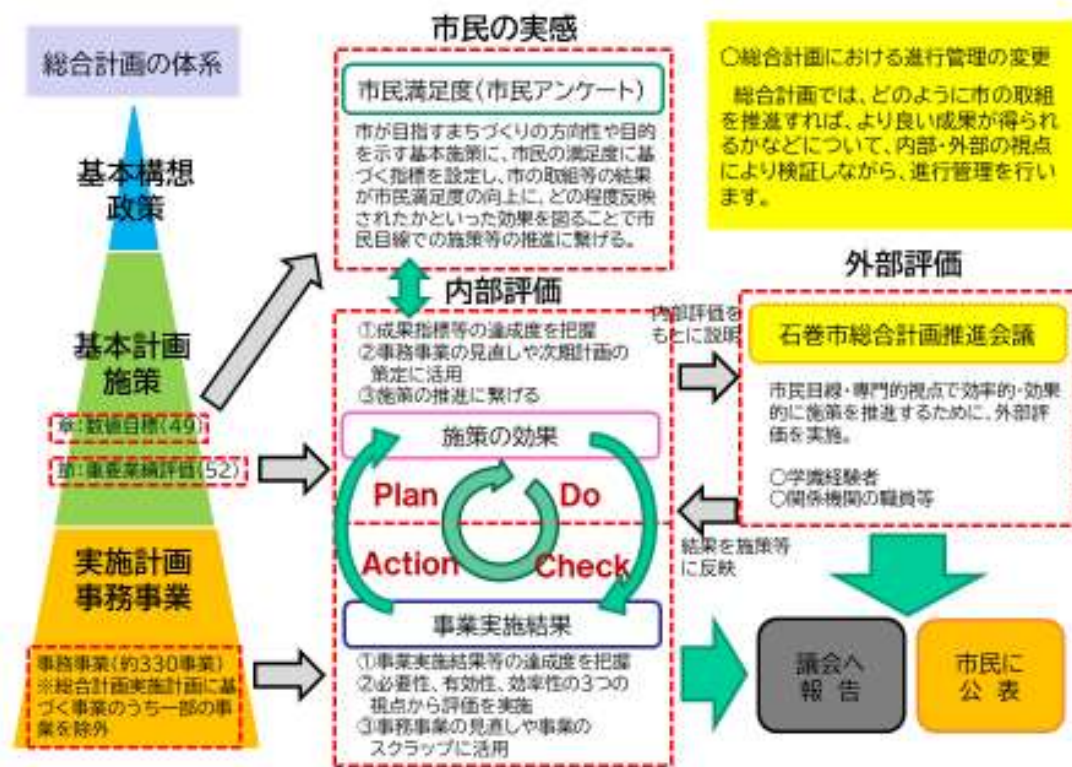
KPI

災害に備えて備蓄(飲料水・食糧)をしている家庭の割合〔単年〕 / 児童生徒の防災教育に対する理解度〔単年〕 / 防災訓練参加率〔単年〕

主な取組

- ・災害に強いインフラ整備を推進
- ・地域の安全確保の推進
- ・災害に的確に対応できる地域づくりを推進

第4編 計画の推進



「第2次石巻市総合計画」は、基本構想、基本計画、実施計画の3層で構成しています。

基本構想では、「ひとりひとりが多彩に煌めき 共に歩むまち」を将来像に掲げ、将来像の実現に向けた6つの基本目標を定めています。

基本計画では、6つの基本目標を達成するための基本施策を定め、数値目標(KGI)と重要業績評価指標(KPI)を設定しており、その達成状況を毎年度評価・検証することにより、施策の進捗管理を行います。

後期計画においては、KGIに市民の満足度などに基づく主観的な指標と、施策の効果を測定するための統計的な数値の客観的指標を設定し、各節における目指す姿の達成に必要な重要業績指標を設定するなど、市民へ施策の効果を明確に説明できるようにロジックモデルに基づき策定しました。

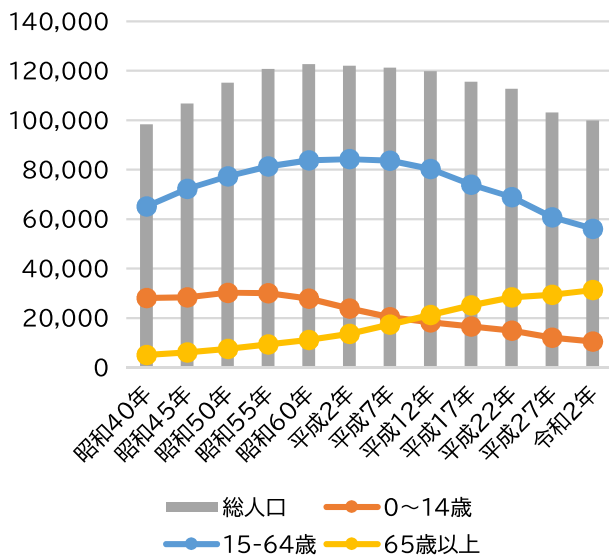
計画を実効性のあるものとしていくためには、計画に位置づけた施策を着実に実施し、その進捗状況や成果(目標の達成状況)を点検・評価し、更にそれを次の実施へとフィードバックさせていく仕組みづくりが重要です。

引き続き、[Plan(計画)]→[Do(実施・実行)]→[Check(点検・評価)]→[Action(見直し)]のサイクルを確立し、継続的に計画の進行を管理します。

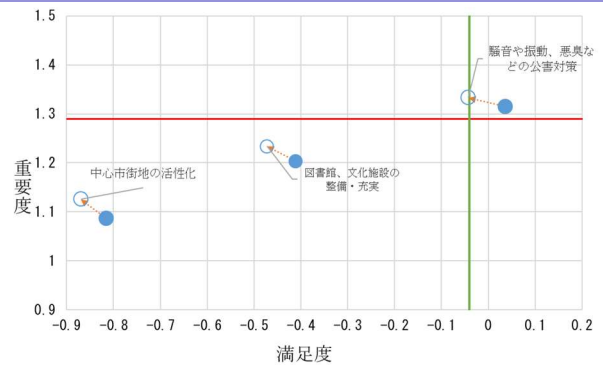
第5編 地区別将来展望

石巻地区

人口の推移



市民満足度調査の結果からみる地区の課題



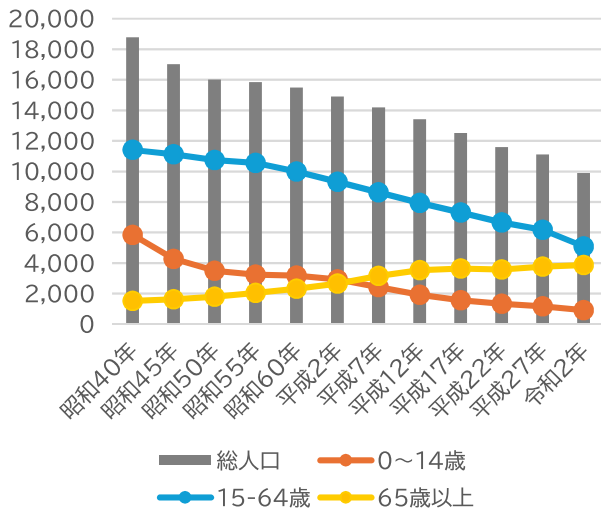
※全体の平均と比較し、満足度が低く、重要度が高いものを抜粋
 ● 全体平均 ○ 石巻地区
 全設問の平均値
 満足度: -0.03
 重要度: 1.29

- 市の平均と比較し、公害対策や中心市街地、図書館の整備などを課題と認識している。

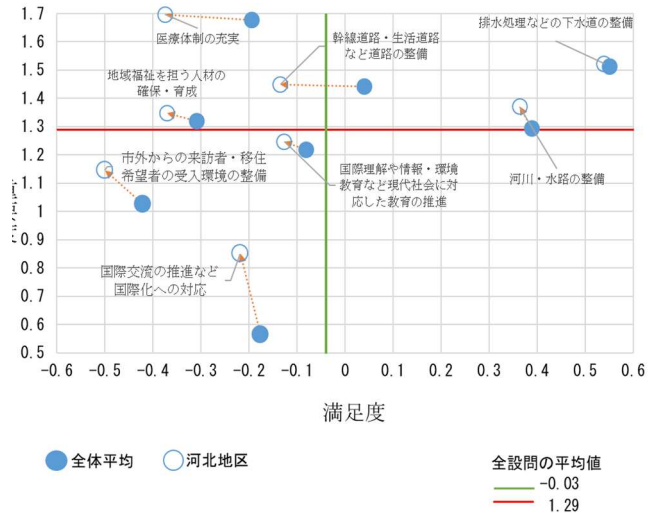
施策展開の方向

- 豊かな地域資源を活かした交流人口の拡大、移住・定住の促進を図り地域コミュニティの存続に向けた取組
- 空き店舗の有効活用などによる中心市街地の活性化を促進
- 地域包括ケアを推進し、安心して暮らせる地域づくりを推進
- 計画降雨に対応する雨水排水施設の能力確保を図ることにより安全なまちづくりを推進
- 漁獲高の向上、担い手の確保を図り、基幹産業である水産業の活性化を図るとともに、関連施設について整備を推進
- 企業誘致を推進し、地元雇用の創出及び地域経済の活性化を促進
- 豊かな地域資源を活用した観光事業を推進し、観光交流人口の増加による地域の活性化を推進
- 創造的な漁業・養殖生産体制の確立が期待される陸上養殖の普及促進

人口の推移



市民満足度調査の結果からみる地区の課題



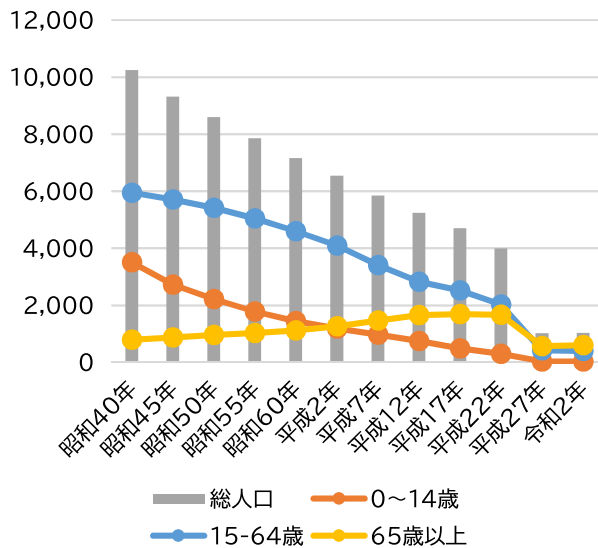
※全体の平均と比較し、満足度が低く、重要度が高いものを抜粋

- 市の平均と比較し、インフラ整備や医療・福祉、国際交流を課題と認識している。

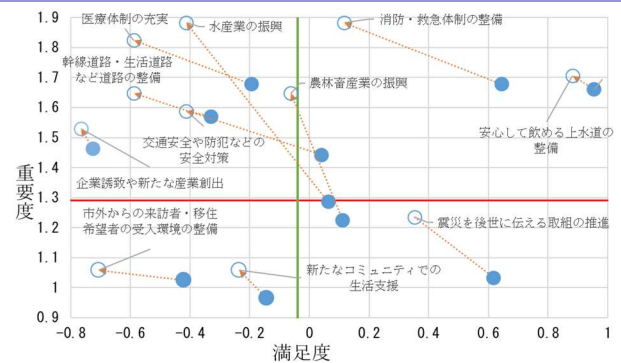
施策展開の方向

- 地域内の住宅地や新たに整備された復興団地とともに地域住民の交流や地域活動を支援し、地域コミュニティの活性化
- 医療と介護の連携推進、保育や子育て支援における安全安心など、様々な課題に総合的かつ包括的な支援が行える体制の強化に努めます。また、地域住民の自助・互助による健康づくりや介護予防への取組、身近な地域における支え合いの取組を推進
- 「河北総合センター(ビッグバン)」や「追波川河川運動公園」などの文化・スポーツ施設の利活用促進を図り、交流活動やスポーツを通じた関係人口の拡大や住民の健康の保持増進
- 身近な生活道路を整備するとともに地域性を考慮した公共交通体系を構築し、市民生活や経済活動の利便性向上と地域の活性化
- 地震や水害などの自然災害への対策を推進し、関係機関との連携の強化や自主防災組織の育成などによる防災体制の整備を促進するとともに、安心して暮らせる環境の構築
- 農林漁業の安定した経営体の育成と担い手の確保を図り、有害鳥獣による被害対策や環境への配慮に努め、地域産業の振興
- 非可住地域について、土地の有効活用を図るために、農業用地などによる利活用を推進し、地域の活性化に努める
- 道の駅「上品の郷」を経済・情報・交流の場とし、地域内の商店街と連携してにぎわいを創出し、地域振興と観光振興を図る。
- 各地域に伝わる「神楽」などの伝統文化や伝統芸能の存続に努める

人口の推移



市民満足度調査の結果からみる地区の課題



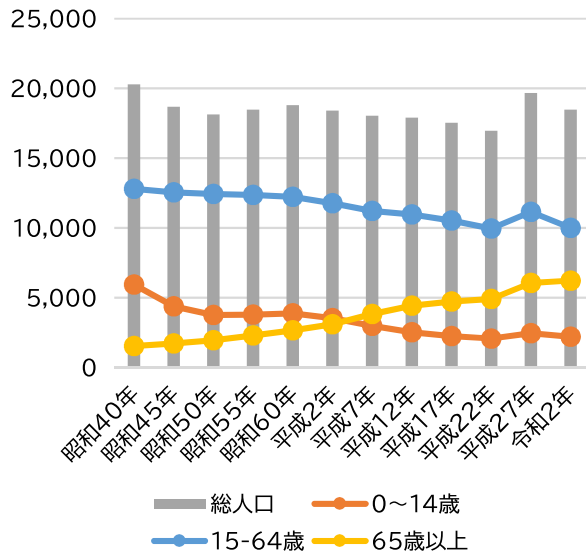
※全体の平均と比較し、満足度が低く、重要度が高いものを抜粋

- 市の平均と比較し、道路整備や1次産業、消防・救急体制を課題と認識している。

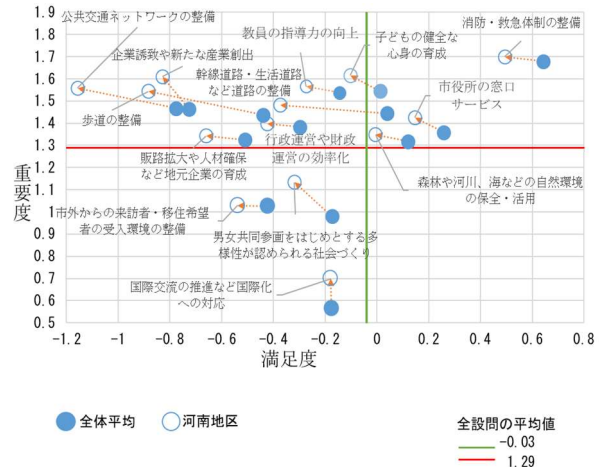
施策展開の方向

- みちのく潮風トレイル、海岸線の美術館、大須崎灯台などの観光資源を活かした交流人口の拡大、情報発信や資源の有効活用による移住・定住の促進を図り地域コミュニティの存続に努める
- 市内他地区へのアクセスがしやすい、地域のニーズを踏まえた持続可能な地域公共交通体系を形成
- 住民の生活や交流人口の周遊に関わる道路網の整備促進を関係機関に働きかけ、住民の利便性向上や地域の活性化
- 地震や水害などの自然災害に対応するため、関係機関との連携を強化し、自主防災組織の育成などによる防災体制の整備を促進するとともに、安心して暮らせる環境の構築
- 地域の医療ニーズに対し柔軟に対応できる仕組の構築や高齢者・障害者・子どもや子育て世代など、すべての人が健康で安心して暮らすことができるよう、医療・介護・福祉分野の関係機関と連携し、共に支え合う仕組づくりを推進
- 豊かな森と海の恵みに育まれたホタテ、カキなど新鮮な地場産品の地域ブランドの確立や高付加価値化を図り、地域基幹産業である水産業の振興や水産業の担い手確保
- 持続的に自然資源を活用できるよう、有害鳥獣対策を実施し、農産物や樹木等の食害低減に努めるとともに、自然環境の保全活動などを推進
- 古くからの伝統を誇る雄勝硯や天然スレート等「雄勝石」を、地域観光の活性化を図る材料として活用しながら、併せて雄勝石産業を支える担い手を確保・育成し、貴重な地域資源としての活用
- 「雄勝法印神楽」や名振の「おめつき」「伊達の黒船太鼓」などの伝統芸能を継承を支援するとともに、地域独自の文化として広く周知し、存続に努める
- 雄勝地域拠点エリアである道の駅「硯上の里おがつ」を経済・情報・交流の中心とし、地域のにぎわいを創出することで地域振興と観光振興を図る
- 雄勝ガーデンパーク推進計画をはじめとした移転元地等利活用推進事業として、市民公益活動団体や地区会と連携し、災害危険区域内の低平地を活用したサクラ等の植樹や薬草等の栽培、北限のオリーブ及びワイン用ブドウ等の栽培による緑化を促進し関係人口及び交流人口の拡大を図り、新たな特産品の開発も視野に入れ、雇用を創出

人口の推移



市民満足度調査の結果からみる地区の課題



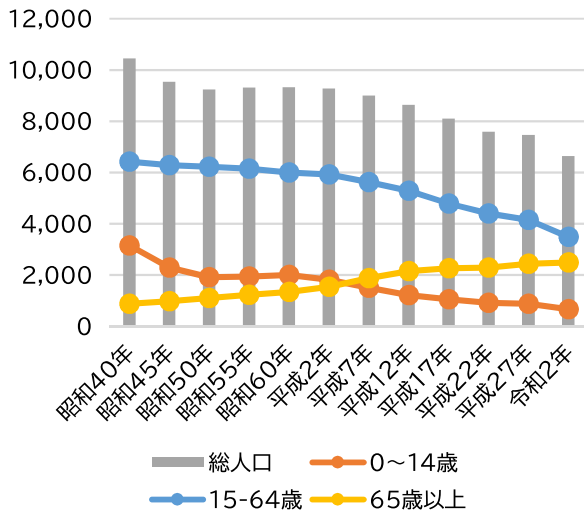
※全体の平均と比較し、満足度が低く、重要度が高いものを抜粋

● 市の平均と比較し、とくに道路や歩道の整備、公共交通を課題と認識している。

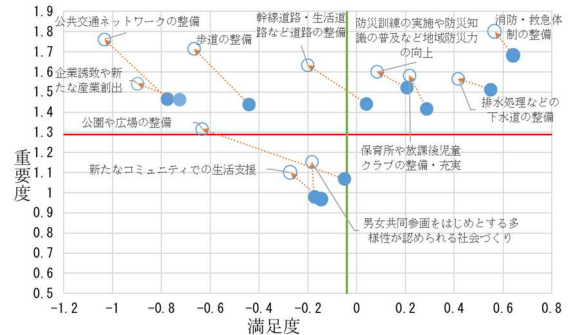
施策展開の方向

- 「遊楽館」「かなんパークゴルフ場」「旭山」や「旭山農業体験実習館(コロボックルハウス)」などについて、市内だけではなく、市外からの利用者が増加するよう、SNSなども活用し、施設のメリットを広くPR し、多くの人々との交流の活性化や交流人口の増加を図るとともに、市民のニーズにあった運営
- 石巻河南道路の整備完了に向けて、関係機関と協力し、整備を推進
- 今後の人口動向を的確に把握しながら、持続可能な公共交通体系の構築や生活道路の整備を促進するとともに、市民ニーズに対応した都市機能の整備を推進
- 地震や水害などの自然災害に対応するため、関係機関との連携を強化するとともに、自主防災組織の育成などを通して、安心して暮らせる環境の構築
- ほ場整備事業により、優良農地を確保するとともに、用水・排水施設の整備などをさらに推進することにより、効率的な営農と低コスト・高品質・高生産性の農業を実現し、安定した農業経営の確立
- 農業の担い手の確保や販路拡大を図り、基幹産業である農業の振興
- 地域住民の自助・互助による健康づくりや介護予防、身近な地域における支え合いの取組を推進
- 文化・スポーツ・交流施設を活用した多世代交流や各地域の伝統的な文化であるお祭り等の行事と連携してコミュニティ活動を推進し、地域の活性化と伝統や文化の継承

人口の推移



市民満足度調査の結果からみる地区の課題



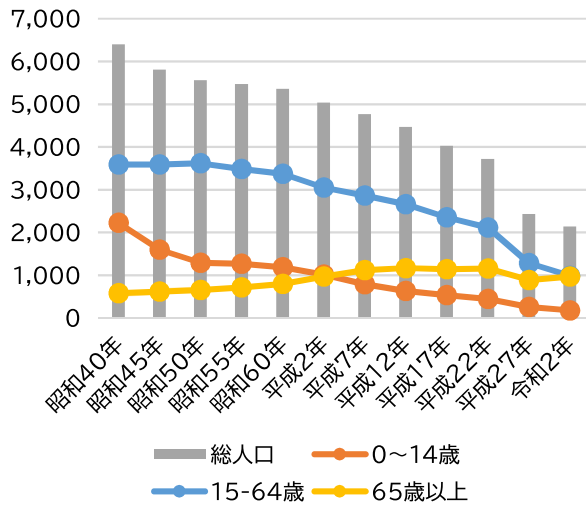
※全体の平均と比較し、満足度が低く、重要度が高いものを抜粋

● 市の平均と比較し、公園や広場・道路の整備、公共交通を課題と認識している。

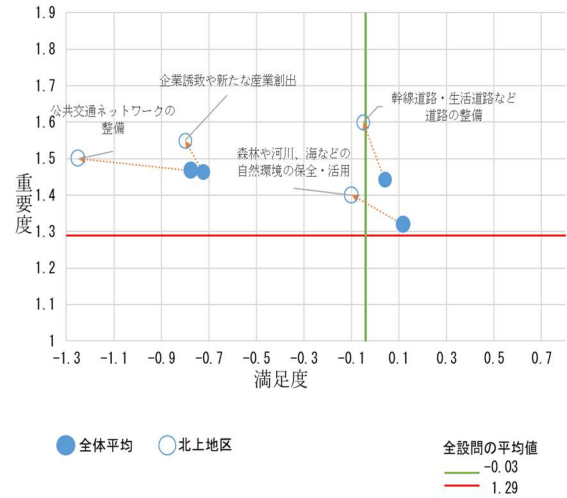
施策展開の方向

- 人口減少や少子高齢化に対応するため、多世代交流や地域住民同士のコミュニティ活動を推進するためのイベント開催や地域拠点施設の適正な整備に努め、地域で支え合う仕組みづくりを積極的に推進
- 移住希望者の移住・定住につなげるため、情報発信や資源の有効活用を図るとともに、快適に日常生活を送れるよう生活基盤の整備や各種生活支援を推進
- 肥よくな大地を活かしたバランスの取れた農業、競争力の高い畜産業を展開し、そこから産出される多種多様な農畜産物を活用し、耕地の有効活用や地域の活性化
- 地域農業や農産物のブランド化、販路拡大を推進し、基幹産業である農業の担い手確保に努める
- 地域性を踏まえた公共交通体系の構築を推進し、住民生活や経済活動の利便性向上と地域内交流などの活性化
- 三陸縦貫自動車道桃生豊里インターチェンジ、桃生津山インターチェンジの立地を活かした産業の活性化
- 地域住民の自助・互助による健康づくりや介護予防、身近な地域における支え合いの取組を推進
- 「はねこ踊り」や各地区の「法印神楽」などの伝統芸能により地域活動を活性化するとともに、交流人口を拡大し、住民のコミュニケーションの場の創出と地域間交流の充実を図り、地域コミュニティの活性化や伝統文化の後継者育成や史跡などの活用
- 地震や水害などの自然災害に対応するため、関係機関との連携を強化し、自主防災組織の育成などによる防災体制の整備を促進するとともに総合防災対策の充実
- 「桃生スポーツ施設」、「桃生植立山公園」などのスポーツ施設の利活用促進を図り、スポーツ活動の推進や交流活動を通じた関係人口の拡大及び住民の健康の保持増進

人口の推移



市民満足度調査の結果からみる地区の課題

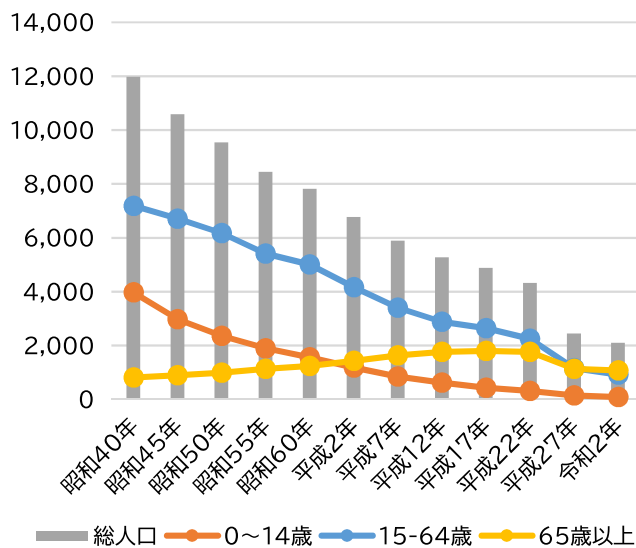


- 市の平均と比較し、道路の整備や公共交通、自然環境の保全・活用を課題と認識している。

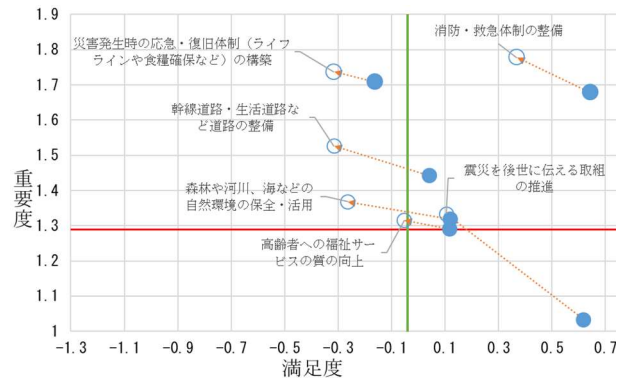
施策展開の方向

- 豊かな地域資源の魅力を発信し、交流人口の拡大や移住・定住の促進を図るとともに、多世代交流の機会を増やし、若者がコミュニティの輪に入る取組を行なうことなどにより、地域コミュニティの活性化
- 地区に居住している住民が快適に日常生活を送れるよう生活基盤の整備を推進し、安全安心に居住できる地域社会を構築
- 安定した地域医療体制を維持するとともに、地域の医療ニーズに対し柔軟に対応できる仕組の構築や、医療・保険・介護・福祉の関係機関との連携を図り、共に支え合う仕組づくりを推進
- 住民の利便性向上を図るため、市内他地区へのアクセスがしやすく、地域のニーズを踏まえた持続可能な地域公共交通体系を形成
- 農林水産業の産業基盤を確立し、生産環境の改善と経営体の育成を図るとともに、生産性の高度化と生產品の高付加価値化
- 非可住地域について、土地の有効活用を図るために、農業用地などによる利活用を推進し、地域の活性化
- 北上川の河口に位置する追波湾で育った「わかめ」「こんぶ」などの海産物や、震災後に整備された大規模園芸施設で生産する「トマト」「パプリカ」などの新たな農産物に加え、津波被害を受けた移転元地で栽培する「オリーブ」など、新たな地場產品のPRに努める
- 全国的に有名な北上川の「ヨシ原」や「神割崎」など、豊富な観光資源を広くPRするため、写真セミナー「太平洋写真学校」など、自然を題材としたイベントを企画することで都市住民との交流を図り、豊かな自然環境の活用を促進
- 「イノシシ」などの野生動物の増加に伴い、持続的な有害鳥獣対策を「住民による自助、地域による共助、行政による公助」の構築により推進
- 「女川法印神楽」や「大室南部神楽」などの伝統芸能を地域独自の文化として広く周知し、伝統文化の存続に努める
- 大雨により冠水被害が発生しやすい地域など、関係機関との連携を強化し、災害に強い地域づくりを促進

人口の推移



市民満足度調査の結果からみる地区の課題



※全体の平均と比較し、満足度が低く、重要度が高いものを抜粋

- 市の平均と比較し、道路や消防・救急体制の整備、震災伝承、自然環境の保全・活用を課題と認識している。

施策展開の方向

- 住民主体で開催するコミュニティ活動や地域イベントの開催、地域で継承される文化活動などを支援し、地域コミュニティの存続に努めます。
- 住民の利便性向上や定住促進を図るため、地域のニーズを踏まえた持続可能な地域公共交通体系を形成します。
- 暮らしやすいまちづくりの実現のため、生活基盤の整備や生活環境の向上、土地や家屋等の地域資源の活用を推進します。
- 三陸復興国立公園などの豊かな自然環境を活用したツーリズムや、水産業と連携したツーリズムなど、地域の魅力を活かした特色ある観光を促進します。
- 金華山定期航路の利便性を確保し、観光客の集客に努めます。
- 高齢者や障害者等が安心安全に暮らせるよう、生活に必要な交通の確保、保健・福祉・医療におけるソフト事業の充実を推進します。
- 持続可能な水産業を維持するため、漁場の環境保全や漁港等の基盤整備のほか、稚魚、種苗の放流などの資源管理を推進します。